Milestone Movement in Myanmar

Association for Rengein Tanjoji International Cooperation

ARTICの活動地域：イラワジ管区

Supported by 日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

Milestone Movement in Myanmar（MMM）とは、ミャンマーの教育改革が全土に広がるように願いを込めて名付けられました。MMMは三つのステップで構成されています。

まず、**第一ステップ**は**学校校舎建設**です。学校校舎建設費の3/4を村人たちに負担してもらいます。彼らは学校校舎建設が始まるまでに、協力し、普段の不必要な出費（喫みたばこやお酒）を控え、子ども達のより良い未来の為に節約し、お金を貯めます。

第二ステップは、村人たちが貯めた建設費の4/1の資金を頭金に、村人主導の**開発事業**を開始します。村人たちが自身たちの手で計画、実施します。

そして**第三ステップ**は、村人たち自身の手で上げた収益を活用し、**教育環境整備**や、**村のインフラ整備**が行われます。村人たちが団結し、自助努力を継続すれば、自分たちや物事を考え行動することができ、そしてより良い村へと発展していきます。

Phase 1

2013/06/01~2015/05/31

MMM　1年目

2013/06/01~2014/05/31

イラワジ管区内の4つのTownshipでプロジェクト開始

2013年10月15日にMemorandum of Understanding（MoU）で解釈覚書にイラワジ管区政府教育省、日本財団、ARTICで合意

2012年11月に10校で校舎建設を開始し、2014年4月に全校舎完成

村の開発委員会を基頭に村ごと開発事業開始事業内容は、田んぼ、ろうそく灯、相撲場、電、機織機、修道院

MMM　2年目

2014/06/01~2015/05/31

2014年11月に16校で校舎建設を開始し、2015年4月に全校舎完成

昨年の村と新規の村で合わせて、27の開発プロジェクトを実施

パチンコックと提供し、400のフェーラックダンスをその村に配布、生活改善と収入向上のプロジェクトを実施

2つのTownshipにて奨学金基金プロジェクトを実施

U Thant 元国連事務総長の本を出版し、歴史人に伝説の秘訣を学ぶ（村人に配布

3つのマイルストーン

1.学校校舎建設
（建設費の25%は村人出資；悪い習慣である喫みたばこなどを辞めてお金をみんなで貯める）
2.開発プロジェクト
村人たちで考案し、一人ひとり貢献をもって実施する
3．自立プロジェクト
支援なしに、村のためのプロジェクトを村人が実施する

Phase 2

2016/06/01~2019/05/31

MMM　3年目

2015/06/01~2016/05/31

日本財団と、Tooth Fairyから、一つ支援により、2015年11月に7校で校舎建設を開始し、2016年4月に全校舎完成

モデル村にて、セミナーを開催。各村ごとの成功談、失敗談から学ぶ場を村人に提供。2015年5月にはSak Chit村にて、105名が参加。2016年7月には Nhanwingyyet にて175人が参加

2013年に校舎を設立した学校にて、開発プロジェクトで得た収益を用い、14の自立プロジェクトが村人たちで計画され、実施された

開発プロジェクトで人気の農業、修道院、図書館とセミナーを対象に、教育プロジェクトをモニタリング評価を実施

MMM　4年目

2016/06/01~2017/05/31

2016年11月に14校で校舎建設を開始し、2017年4月に全校舎完成

57の学校でマイルストーンの初めであり校舎建設が終了し、すべての学校で第二マイルストーンの開発プロジェクトが進められている

Wyo Hsaung & Kyee Kyaung でセミナー開催

ARTIC MITAZU (ARTIC FAMILY) という言葉が村人に定着

カンボジアにあるNGO　KIZUNAがカンボジア人教師に対し主催する教師育成プログラムを受け入れ、カンボジアの教員たちは村にホームスタイルで学校と村人の間が良いを学ぶ

Tooth Fairy ボランティアツアーによりこっつの村（Payar Gyi Gone, Pyan Yay Kyaw）で子供たちの歯科検診事業を実施

自立プロジェクト例

- 学校のフェンスやゲート建設
- 先生の寄宿舎、学生寮
- 橋（デルタ地区であるイラワジ管区には必須）
- 田んぼ、畑
- 新校舎
- 道路、歩道（舗装されていない道が多いため）

Phase 3 Past 1

2019/06/01~2020/08/31

MMM　5年目

2017/06/01~2018/05/31

2017年11月に13校で校舎建設を開始し、2018年4月に全校舎完成

2017年4月に、ミャンマー教育省から人材育成センター設立の許可を取得し、人材育成プログラム（HRDP）を開始し活動中。

パチンコック100周年記念事業として図書館、パワーポイントライスステーションを設置

Thar Yar Gone & Maung Tet でセミナーを開催

カンボジアにあるNGO　KIZUNAがカンボジア人教師に対し主催する教師育成プログラムを受け入れ、

83の開発プロジェクトが各村で実施され、140もの自立プロジェクトが村人により実行されている

MMM　6年目

2018/06/01~2019/05/31

2018年11月に10校で校舎建設を開始し、2019年4月に全校舎完成

ANJ と協働：HRDPへ特別講師を招待し、チームワークや問題解決能力向上のためのワークショップを実施

180人の先生が人材育成プログラムへ参加し、教学校へのEducationPlanを制作、実施

Parasnoice と協働し、和下卒之助氏の物語をミャンマー語に翻訳し、3100冊を出版。ラワジ管区下ミャンマーの学・高校に配布し読書感想文コンクールを実施

Sin Kaung Gyi & Min gyi がでセミナーを開催

MMM　7年目

2019/06/01~2020/08/31

2019年11月に8校で校舎建設を開始し、2020年4月に全校舎完成

月二回、HRDPで人材育成プログラムを実施し、参加者の先生が各地域に持ち帰えり同僚にもワークショップを実施。HRDPに参加した先生が約1,000名となる

Kokko su でセミナーを開催

20年以上、図書館が存在しなかったキャン村、学校に図書館を整備する運動、運営方法をレーニングし、人々にもっっと"本の力"を広へてもらうプロジェクトを開始

Phase 3 Past 2

2020/12/01~2022/012/01

MMM　8年目

2020/12/01~2021/08/31

2020年12月に8校で校舎建設を開始し、2021年3月に全校舎完成。

2020年12月01日にMemorandum of Understanding（MoU）で解覚書に教育省、日本財団、ARTICで合意（地域レベルから、国家レベルへ）

2020年には14のTownships中の19校が昇格し、さらに多くの学生を受け入れる体制が整った

連鎖寄付により、15の学校に遊具設置を実施した。ミャンマーには学校の校庭とない場合が多く、遊具はとても貴重であり多くの学生に興味を与える

オンラインでリーディングプロジェクトを実施。毎日朝ハストーク、ラジオ局、コメン欄を活用して環境共有を実施。

パンデミックにより19RDPが開催できない代わりに、事業変更を行った。図書館建設、学校改善建設、教師プロジェクトを実施

MMM　9年目

2021/09/01~2022/12/01

2021年12月に8校で校舎建設を開始し、2022年3月に全校舎完成予定

月2回、HRDPで人材育成プログラムを実施する。プログラムを幅広く改良し、学校保健やアイ・ヘルス・ケア・教育・ICT・ライフのセットの設備を用い、先生たちのキャパシティ・ビルディングワークショップを実施予定

パチンコック創設者、和下卒之助物語のエンターテイコンテストを開催予定

ガニンクでセミナー開催予定

2021年12月に、HRDPの事業が各地域で研修を進めるための基盤として、ARTIC TOKYO ACADEMY (ATA) を創設。年2回、教員のために研修を行えるようにサポート

Published by:

Association for Rengein Tanjoji International cooperation（ARTIC）
NPO法人れんげ国際ボランティア会